

# 「OWL」の現地操作と解析の指導を、 山梨森林管理事務所職員へ行いました。

令和6年7月10・11日、山梨森林管理事務所職員に、森林3次元計測システム「OWL」の現地操作と解析の指導を行いました。同事務所には、寛永年間(1624～1644)に植栽された記録が残る高齢級アカマツ林(諏訪森国有林)があり、特別名勝富士山に含まれるほか、富士山世界文化遺産構成資産の一部となっています。このアカマツ林を「OWL」で調査し、デジタルデータを元に管理することを目的としています。

当センターが継続調査している141年生の「御前山ケヤキ展示林」において、実際に計測し、その解析を通じて、「OWL」の習熟を図りました。

